

# [信誠寺庫裡・客殿]見学レポート

資料1



資料2



お決まりの幼稚園併設



正面遠方に信誠寺山門が見える



浄土真宗蓮如上人の碑



山門と本堂の屋根が見える



山門



信誠寺しんじょうじ  
(浄土真宗)

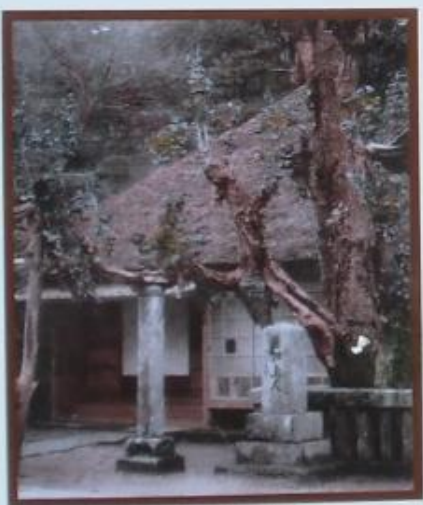
本願寺派の末寺で本尊は阿彌陀如来です。

境内の「逆さ銀杏」は蓮如上人が杖を逆さに差したところ枝葉が繁茂したいわれ祈願をすると乳の出が良くなる信仰が伝えられています。

「竜灯木古跡」には海中から火の玉が飛んできて木の梢で燃え続けたのを人々は竜灯と呼び大津の港の目印になったという伝説があります。

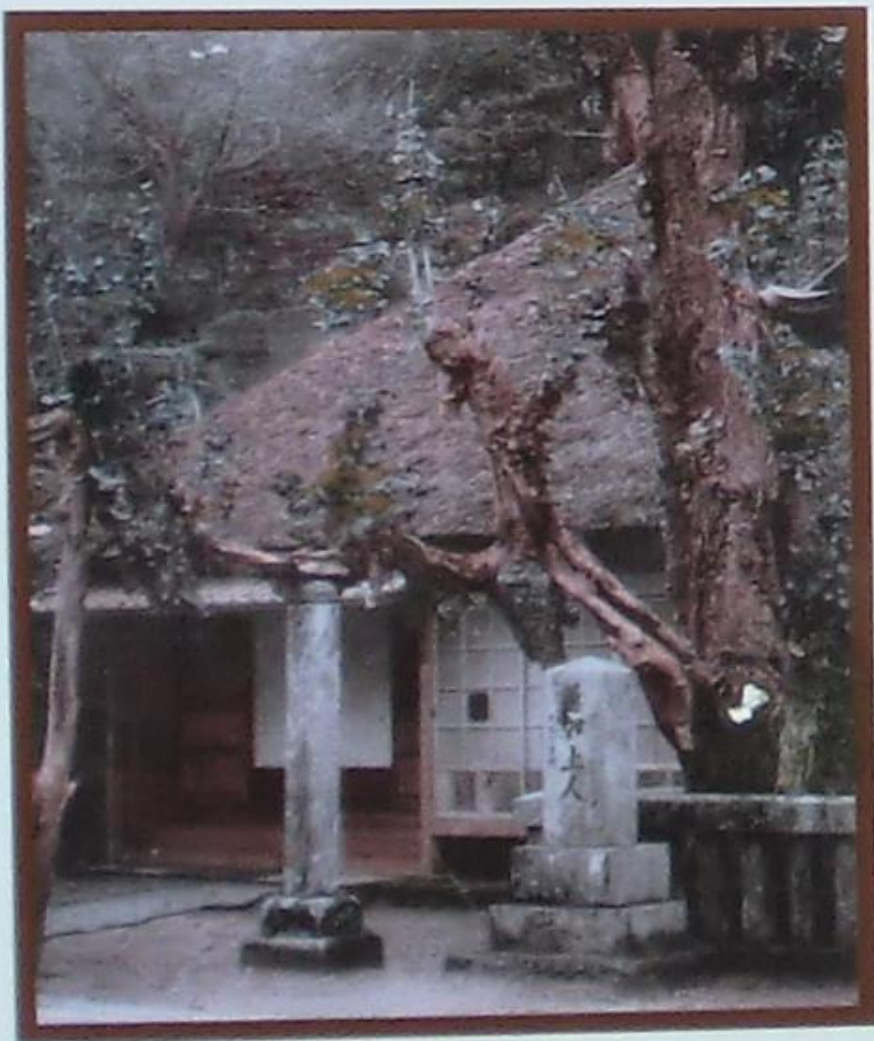
山門下には江戸湾沿岸を防備した川越藩士の墓、墓地の奥正面には初代三浦郡長を務めた小川茂周の墓があります。

幕末期に寺子屋が設けられ明治十年(一八七七)大津小学校ができるまで寺の庫裡には小学校の前身となった郷学校が置かれていました。



昔の信誠寺





昔の信誠寺

幕末期に江戸湾沿岸を防備した川越藩士の墓



## 川越藩士の墓

幕末期、ペリーの黒船来航以前にも日本沿岸には、度々、異国船が現れ緊張が高まりました。幕府は江戸湾沿岸の警護を大名守備で固め、川越藩主・松平大和守に観音崎・走水・大津地域の海防を命じ、天保十四年（一八四三）大和守は大津に陣屋を造営しました。

川越藩の任期は十年間で、藩士の赴任に家族の同行を許し、陣屋内に同居させました。信誠寺の過去帳によれば、赴任中に亡くなった藩士六名と家族は計二八名で、門前には六基の墓があり、左端に大津の寺子屋で教えた岡田拙斎先生の墓があります。

藩士たちの墓は他に、貞昌寺、走水の円照寺、大泉寺にあります。



川越藩士が詰めた大津陣屋跡

山門



山門



山門から振り返る





本堂/平成12年建立という













本堂の屋根と左手に庫裡・客殿の屋根







正面が庫裡・客殿







親鸞聖人御像





庫裡・客殿と中庭



庫裡・客殿の軒反り











塗装もかなり傷んでおり、一刻も早い補修対応が望まれる



海風の影響もあり錆があちこちに出ている



卍くずし文様の手摺



開口部はコンクリートによる抱きを廻している



二軒のイメージ




信誠寺会館とある



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和48	1973	信誠寺 庫裡・客殿	神奈川県 横須賀市	昭和48～49	松浦弘二	建立設計事務所 (意匠設計共、姿図設計)	東邦建設	RC造

✎ 信誠寺
🚶 京急新大津駅下車 徒歩12分

➡ 地図



信誠寺

浄土真宗のお寺で峰谷山信誠寺と書いて、「しんじょうじ」と読みます。本願寺派の末寺で、本尊は阿弥陀如来です。

寺伝によれば、開山は了海上人と伝えられています。古くは真言宗でしたが、1197年(建久8年)、江戸麻布の善福寺了海上人が親鸞上人の関東布教の折に浄土真宗に帰依し、このお寺に来て改宗しました。

境内には「逆さ银杏」の木と、連如上人の碑があります。1450年(宝徳2年)、蓮如上人が手にしていたイチョウの木の杖を逆さまに刺したところ、枝葉が繁茂したといわれています。祈願をすると乳の出が良くなると伝えられています。碑は1785年(天明元年)の年号が刻まれています。

幕末期には寺小屋が設けられ、1877年(明治10年)に大津小学校ができるまで、寺の庫裏には小学校の前進となった郷学校が置かれていました。現在は、信誠寺には「ぎんなん幼稚園」が併設されています。

本堂は昭和30年に火災によって消失し、昭和38年に再建しました。現在の本堂は平成12年に建てられました。

▶ [身近な植物図鑑: イチョウの果実](#)

▶ [身近な植物図鑑: イチョウの乳](#)

撮影: 2006年12月02日

インターネットより引用



インターネットより引用



インターネットより引用